

## もくもくとひたすら学び続ける「黙学(もくがく)」のすすめ

—コロナ禍の中(2021年9月1日～2022年3月31日)7か月間の学び方の基本とは—

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1)新型コロナウイルス変異株の感染拡大防止のため、ワクチン2回接種が進んでいる中、どのように勉強したらよいか、悩んでいる人も多  
いと思います。



(2)なぜなら、コロナの感染拡大が進み、学校休校や分散登校が議論されていますが、「入学試験や模擬試験」、学校での「定期試験」や「実力テスト」、「3大検定試験」はほぼ予定通り行われると思われるからです。

(3)では、入試や模試、学校の定期試験や実力テスト、3大検定など多くの試験が目白押しで、続けて行われる来月9月1日から来年3月31日までの7か月間、どのように勉強したらよいのでしょうか。一緒に考えて参りましょう。



2. (1)おすすめは、「もくもくと、ひたすら学び続ける『黙学(もくがく)』」  
です。

(2)開倫塾では、コロナ禍の厳しい中、検温、手洗い、マスク着用、換気など万全の感染防止対策を講じた上で、「もくもくと、ひたすら学び続ける『黙学(もくがく)』」をおすすめします。

(3)「学校の授業中」「家庭学習」「開倫塾の授業中」「開倫塾での自学自習」など、学ぶときには「もくもくと、ひたすら学び続ける『黙学(もくがく)』」をおすすめします。

3. (1)「黙学(もくがく)」とは、このような時期ですから、感染防止のためにマスクを常時着用し、声を出さず、静かに「もくもくと、ひたすら学び続ける」ことです。



(2)「声を出さず」といいましたが、自分だけに聞こえるくらいの小さな声でぶつぶつと教科書を「音読」したり、「暗唱」することは大いにおすすめします。

(3)「理解」した内容を、スラスラとよく読めるようになるまで声を出して繰り返し読む「音読」と、その内容をすべて覚える「暗唱」は、極めて効果の上がる学習方法だからです。定期テスト対策や3大検定対策はもちろん、私立中入試、公立中高一貫校入試、高校入試、大学入試でも「音読と暗唱」は欠かせません。ただし、マスクの中で自分に聞こえるくらいの小さな声で読んでくださいね。

4. 「黙学(もくがく)」で、「もくもくと、ひたすら学び続ける学習習慣」を身に着けよう。

(1)すべての勉強は、最終的には一人でもくもくと行うものです。

(2)コロナ禍の中、マスク着用で大きな声を出さずに「もくもくと、ひたすら学び続ける」ことはつらいかもしれませんが、この「黙学(もくがく)」の「学習習慣」は、将来、大学や大学院、専門学校などの高等教育機関で学び、教育・研究を行うときに役に立ちます。また、社会に出て仕事や社会的な活動をする際に役に立ちます。充実した人生を送るために、よく生きるために、生涯にわたって役に立ちます。

(3)来月 9 月 1 日から来年 3 月 31 日まで、「もくもくと、ひたすら学び続ける『黙学(もくがく)』」に少しずつでも OK ですからチャレンジしてくださいね。

\*「新聞」を読むときや「読書」のときにも、この「黙学(もくがく)」に挑戦してくださいね。  
ただし、自分だけに聞こえるくらいの小さな声でポソポソと音読することを大いにおすすめします。

